

編集・発行：公益社団法人教育文化協会
〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <https://www.rengo-ilec.or.jp/>

発行責任者：専務理事 永井 浩

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

公益社団法人教育文化協会（^{アイレック}ILEC）へのご支援・ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。皆様方にとって、本年がより良い1年となりますよう祈念いたします。

世界中で猛威を振るった新型コロナウイルスは、一応の落ち着きを見せていますが、この3年間あまりの年月は私たちの働き方や暮らしに大きな爪痕を残しました。また、世界各地での紛争激化は、世界的なエネルギー価格、生活物資の高騰を招いています。一方、わが国においては大幅な円安の動きがさらに追い打ちをかけるなど、私たちの日々の生活、そして、将来に影を落としています。

こうした状況は、弱い立場にある人たちを直撃し、その生活基盤の脆弱さを浮き彫りにしていますが、だからこそ、すべての働く者が連帯し、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた、運動の推進が一層、重要性を増しています。

本年も当協会は、連合運動を支える人財の育成はもとより、労働の社会的意義を広く社会全体で共有できる「労働文化づくり」や、ワークルールを理解し実践に活かす取り組みを通じて、諸課題に適切、かつ柔軟に対応し得る時代を拓く人財の育成に努めてまいります。

労働教育を目的とする「連合寄付講座」は、昨年新たに2大学で開設され、全国24大学で開講中です。引き続き、開設を検討・希望する大学、地方連合会と連携をとり、取り組みを広げてまいります。

昨年秋の開講で23回を数えた「Rengoアカデミー・マスターコース」は、これまで実に500名以上が受講しています。受講生・修了生同士の全国に広がるネットワーク形成は、誇れる大きな強みです。第9期生を迎えた「連合大学院」とともに、継続して、社会運動・労働運動の次代を担うリーダー育成をサポートします。

「幸せさがし文化展」や「私の提言」といった文化事業についても、公益社団法人として目的を踏まえた事業を展開していきます。連合組合員のみならず、幅広い方からご応募・ご提言をいただくため、より発信力を高めてまいります。

本年も当協会は、社会の共感を呼び、学び合える事業を推進してまいります。皆様方の益々のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



理事長 相原 康伸

Rengoアカデミー第23回マスターコース

～今秋まで続くプログラムがスタート～

2023年11月12日（日）～17日（金）、神奈川県「メロンディアあざみ野」にて、Rengoアカデミー第23回マスターコース（校長：芳野友子連合会長）の前期合宿を実施しました。

12日の開講式では、主催者を代表して相原康伸理事長が「本マスターコースでは、組合活動、労働運動の方向性を確認、理解することはもちろん、学びにアプローチします。ご自身の領域を広げ、日本の組合活動、労働運動の前進に皆さんの活動が必ず生かされると確信しています」と挨拶を行いました。続いて、芳野校長より「期間中に多くの課題と向き合い、たくさんの知識を習得し、解決へ至るよう、深く考えていただくことを期待しています。貴重な経験を絶好のチャンスととらえ、積極的に参加していただきたい」とメッセージが送られました。最後に、中村圭介教務委員長（東京大学名誉教授）より受講生へ激励の言葉をいただきました。そして受講生18名を代表して、自動車総連・今仙電機労働組合の蝦名直幸さんが堂々と決意表明を行いました。

開講式終了直後から早速講義がスタート（下表①）。連日、受講生は一流の講師陣から、幅広い分野・領域の知識等の習得に励むとともに、グループワークを通じて活発な意見交換も行いました。

日中の講義後も、学びの場は続きます。5つのゼミナール（下表②）に分かれて、Rengoアカデミー・マスターコースの集大成となる「修了論文」の完成に向けて、担当教員、ゼミの仲間と連夜、遅くまで議論を交わしました。

修了論文はこれまで、歴代の受講生約500名が作成しています。受講生はこれから日々の多忙な業務の合間を見つけながら、各ゼミ単位で数回実施される必修ゼミを通し、課題認識を掘り下げて修了論文の作成を進めていきます。5月13日（日）～18日（金）に実施予定の後期合宿にて、各担当教員、受講生の前で論文の構想を発表、完成した論文を7月に提出するスケジュールです。

本マスターコースは、9月下旬に開催予定の修了式まで約1年間のプログラムとなっています。派遣いただいている各組織の皆様におかれましては、受講生への温かいご支援をお願いいたします。



2023年11月12日の開講式の様子

①Rengoアカデミー第23回マスターコース・前期合宿の内容

講義日	科 目	講 師 氏 名
11/12 (日)	論文のまとめ方	中村 圭介 (Rengoアカデミー教務委員長)
	連合の役割・行動I	芳野 友子 (連合会長)
11/13 (月)	アサーティブ・トレーニング	谷澤久美子 (アサーティブ・ジャパン認定講師)
	労働者自主福祉の課題	高橋 均 (中央労協講師団講師)
		伊丹謙太郎 (法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授)
		麻生 裕子 (連合総研主任研究員)
11/14 (火)	労働法の基礎	長谷川 聡 (専修大学教授)
	連合組織強化の課題	河野 広宣 (連合総合組織局長)
		中山 耕介 (連合組織企画局局長)
		中村 圭介 (Rengoアカデミー教務委員長)
11/15 (水)	歴史からみた労働組合の役割	仁田 道夫 (東京大学名誉教授)
	雇用・労使関係の変化と労働法制の課題	浜村 彰 (法政大学名誉教授)
11/16 (木)	社会保障のとらえ方	菅沼 隆 (立教大学教授)
	「安心社会」への戦略を考える	宮本 太郎 (中央大学教授)
11/17 (金)	仕事と賃金	石田 光男 (同志社大学名誉教授)
	アカデミー中間整理	相原 康伸 (教育文化協会理事長) 禹 宗杭 (法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授)

②ゼミナールの内容

担当教員・テーマ
禹ゼミ 禹 宗杭 (法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授) 「労働組合の機能と役割をみつめなおす」
梅崎ゼミ 梅崎 修 (法政大学キャリアデザイン学部教授) 「キャリアと労使関係」
木本ゼミ 木本喜美子 (一橋大学名誉教授) 「少子高齢社会のなかの人間と労働組合」
橋元ゼミ 橋元 秀一 (國學院大学教授) 「企業・職場と労働組合」
浜村ゼミ 浜村 彰 (法政大学名誉教授) 「労働法と労働組合」

臨時総会・第50回理事会にて新役員体制を決定

教育文化協会では、2023年11月17日（金）の臨時総会（書面決議）において役員の選任、同年12月15日（金）の第50回理事会（書面決議）にて業務執行理事（常務理事）の選定を行いました。新たな役員体制は以下の通りです。今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長	相原 康伸	理 事	網島 和彦	理 事（新）	織田 正弘	理 事	今野浩一郎
副理事長	清水 秀行	理 事	石川 幸徳	理 事	芦川 和人	理 事	禹 宗杭
専務理事	永井 浩	理 事	山木 正博	理 事	濱田 毅司	理 事	禿 あや美
常務理事（新）	河野 広宣	理 事（新）	壬生 守也	理 事（新）	平川 則男	理 事	藤田 親継
常務理事	遠藤和佳子	理 事	水野 和人	理 事	元林 稔博		
理 事	畑 慎一	理 事	成田 幸隆	理 事	南部美智代	監 事	湯本 健一
理 事	並木 泰宗	理 事	堀谷 俊志	理 事	梅原 貴司	監 事	勝田 年彦
理 事（新）	八巻 由美	理 事	木村 敬一	理 事	宮本 礼一	監 事	砂金 良昭
理 事	中澤 清孝	理 事	伊藤 敏行	理 事	中村 圭介		
理 事	椎木 盛夫	理 事	立川 博行	理 事	伊丹謙太郎		

（2023年12月15日現在）

臨時総会（書面決議）にて次の役員が退任しました。

（前）常務理事 内藤 靖博 （前）理 事 榎本 朋子 （前）理 事 坂田 幸治
 （前）理 事 園田 龍一 （前）理 事 新谷 信幸
 在任中ひとかたならぬご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

就任のご挨拶

皆様、こんにちは。このたび常務理事に就任いたしました、連合本部総合組織局の河野と申します。よろしくお願いいたします。

今、労働組合の組織率は年々低下しています。要因は、様々ありますが、組合役員の人財育成も一つの要因であると思います。

単組や産別において、工夫を凝らした役員教育がなされていると思いますが、教育文化協会だからできる、教育文化協会にしかできない、だから参加したい。そのように感じていただける役員教育を意識し、ご本人の成長はもとより、単組や産別を超えた人脈づくりにつなげ、労働運動にやりがいを感じることができる教育につながればとの思いです。微力ながら尽力いたしますので、皆様のお力添えをいただきますようお願いいたします。

常務理事 河野 広宣

退任のご挨拶

連合総合運動推進局長として2年間、常務理事を務めさせていただきました。

当該局で「若者」をキーワードにした運動やワークルール教育を推進していた関係で、教育文化協会の活動と親和性が高いとの理由からの就任でしたが、RenGoアカデミー・マスターコース受講生との交流や大学寄付講座での講義、「私の提言」の審査等々、大変貴重な経験をさせていただきました。特に大学寄付講座では、学生の皆さんに労働組合・連合を知ってもらい貴重な機会となる一方、学生に対するワークルール教育の重要性を痛感することにもなりました。

今回で役員を退任することにはなりますが、引き続き各種事業に対する皆様のお力添えをいただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。

前常務理事 内藤 靖博



初級・中級合わせてのべ1,038名が合格！ ～ワークルール検定2023・秋～

働くときに必要な法律や決まりを身につけられる検定制度「ワークルール検定」が、2023年11月25日（土）～26日（日）に開催されました。これまでは限られた試験会場での実施でしたが、今回から（株）CBTソリューションズが提携するテストセンターでの受験が可能となり、47都道府県に拡大。初級は1,025名が受検して718名が、中級は同428名中、320名が見事に合格しました。

教育文化協会は、連合や中央労福協などとともに同検定の運営に参画しながら、その展開・拡大に取り組んでいます。次回と同検定は、6月8日（土）～9日（日）に初・中級を実施する予定です（検定期間延長の場合あり）。詳細は右記ホームページをご覧ください。

「ワークルール検定2024・春」



HP：https://workrule-kentei.jp/

連帯社会研究交流センター「『連帯社会』連続講座」のご案内

1～3月に、「連帯社会研究交流センター」が連帯社会に関わる研究者の方々に問題提起をいただく「『連帯社会』連続講座」を開きます（日程、内容等、下記表参照）。オンライン（Z o o m）のため、国内外を問わずどちらからでもご参加可能です。ふるってご参加ください！

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立しました。修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の運営、支援・連携組織として、連帯社会構築に向けてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

お申し込み・詳細等はこちらから→
<http://recss.jp/event.html>



1月20日（土）	貧困の現状と課題—「子どもの貧困」「女性と貧困」の視点から 講 師：藤原千沙（法政大学大原社会問題研究所教授）
2月17日（土）	建築に見る“個”と“連帯”：イギリスでの経験から 講 師：額原澄子（千葉大学工学部准教授）
3月16日（土）	アレクサンダー社会学の市民社会の思考について 講 師：兼子 諭（法政大学社会学部兼任講師）

※時間はいずれも15時～16時40分

第18回労働法講座（基礎コース）のご案内

2月5日（月）～6日（火）に都内の連合会館にて、第18回労働法講座（基礎コース）を開催します。

1日目は野川忍・明治大学法科大学院教授より、労働法の必要性や役割、全体像に加え、労働契約法、労働安全衛生法などについて講義をいただきます。2日目は、午前には村上陽子・連合副事務局長による「連合の雇用・労働法制への取り組みを学ぶ」と題した講座、午後は森戸英幸・慶應義塾大学法科大学院教授より、労働組合法や男女雇用機会均等法、非正規雇用の待遇格差、障害者雇用促進法などのお話をいただきます。



前回の労働法講座（基礎コース）の様子（オンライン併用開催）

お申し込みの締め切りは1月26日（金）です。皆様のご参加をお待ちしています！

お申し込み・詳細等は [ILEC 労働法講座](https://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/roudouhou/index.html) [検索](#)
<https://www.rengo-ilec.or.jp/seminar/roudouhou/index.html>

編集後記

何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く——。2000年のシドニー五輪女子マラソンで、同種目日本人初の金メダルを獲得した、高橋尚子さんの座右の銘と記憶しています。昨秋、Rengoアカデミー・マスターコースが開講し（P2参照）、受講生18名が修了論文の完成をめざして、一斉に走り出しました。今は何処の地点ですか？ 給水も大切です。この夏の提出時、自分が決めた色のメダル。きっと似合っています。本年もよろしくお願いいたします。（M a t s）